

令和7年度の予算が決定

■ 歳入の内訳の依存財源（グラフの の部分）

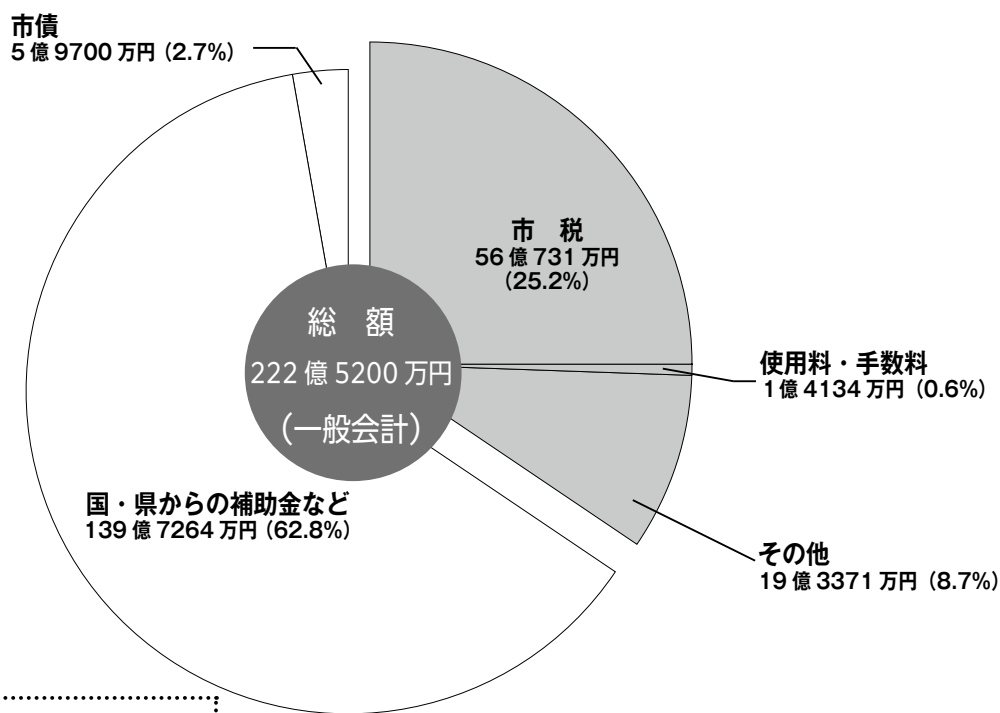
国や県により定められた額を交付されたり、割り当てられたりする次のような収入をいいます。

- 地方交付税…市の財政力に応じて国から交付されたお金
- 国庫支出金…事業に対しての国からの補助など
- 県支出金…事業に対しての県からの補助など
- 譲与税・交付金…国や県から交付（配分）されたお金
- 市債…大きな事業をするときなどに借りたお金（市の借金）

■ 歳入の内訳の自主財源（グラフの の部分）

皆さんが納めた税金や使用料、手数料など、市が収入し得た財源をいいます。「その他」には次のような収入があります。

- 財産収入…土地建物貸付収入など
- 繰入金…基金（市の貯金）の取り崩し
- 繰越金…前年度から繰り越されたお金
- 諸収入…学校給食費や助成金など
- 負担金…保育所保育料など
- 寄附金…ふるさと納税など



令和7年度の市の予算が決まりました。「予算」は市に入ってくるお金がどれくらいで、そのお金を何に使うか、市のお金のやりくりを計画したものです。皆さんが納めた市税や施設の使用料などはそのように使われるのか、一般会計の概要を紹介します。

歳入の内訳

▼ 一般会計予算の動向

一般会計予算は市の中心となるもので、市がまちづくりを進めていくための基本的な経費が盛り込まれている会計です。

市の令和7年度の一般会計予算は、222億5200万円です。前年度に比べて8.5%、金額で17億5200万円の増加となっています。

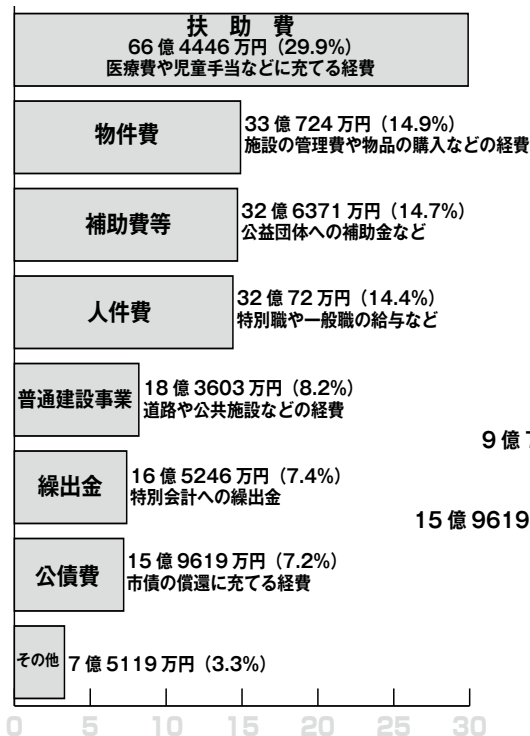
歳入では、市税や地方交付税などが増加しています。一方歳出では、国のこども・子育て政策の強化による児童手当の拡充や新設保育所への補助などの経費が増加しています。

▼ 予算を支えるのは皆さんが納めた市税です

歳入には、市の独自の財源の「自主財源」と、国や県からの補助金などによる「依存財源」があります。「自主財源」が多ければ多いほど、市の予算にもゆとりが生じ、市民の皆さんに市独自のサービスを提供したり、将来に向けての積み立てをすることができま

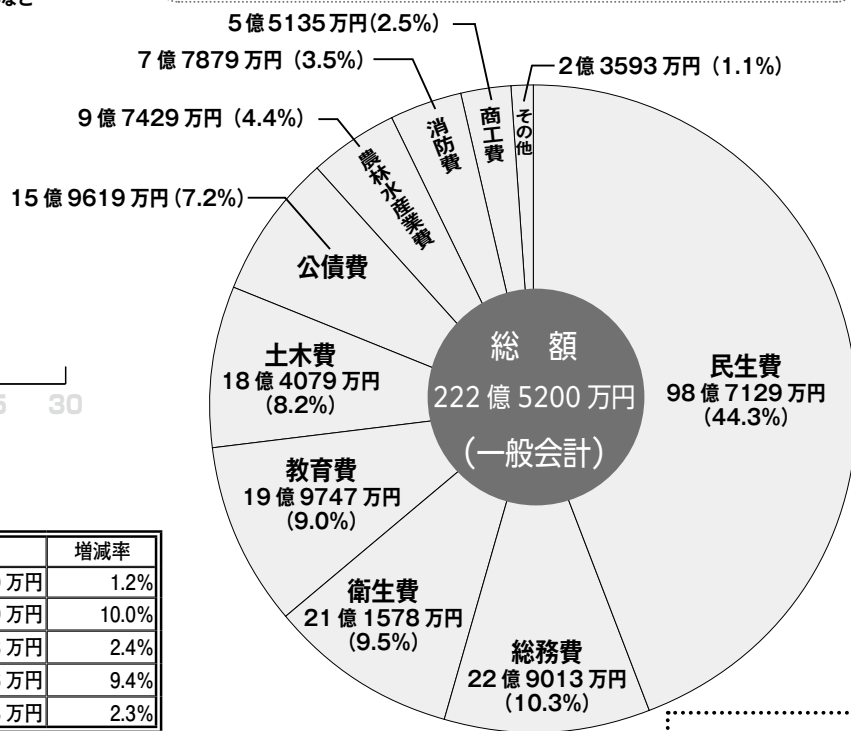
す。この大切な「自主財源」の約7割を占めているのが、皆さんが納める市税です。市税は、市の予算を支える大きな柱となっています。

一般会計歳出の性質別内訳



■ 歳出（目的別内訳）の解説

民生費…高齢者福祉や保育所、生活保護などの経費
 総務費…一般事務経費や財産管理、積立金などの経費
 衛生費…病気予防のための各種検診やごみ処理などの経費
 教育費…社会教育や小・中学校の整備を行うための経費
 土木費…道路整備や公園整備などの経費
 公債費…借入金の返済金
 農林水産業費…農林業の振興に要する経費
 消防費…市消防団員による消防や救急活動などの経費
 商工費…商工業振興や観光振興などの経費
 その他…議会費、労働費、災害復旧費など



特別会計の当初予算額

会計名	予算額	増減率
国民健康保険	45 億 330 万円	1.2%
後期高齢者医療	6 億 3789 万円	10.0%
介護保険	45 億 2298 万円	2.4%
介護保険介護サービス事業	666 万円	9.4%
合 計	96 億 7083 万円	2.3%

歳出の内訳

▼貴重なお金の使い道は

皆さんが納めた市税など、市に入ってきたお金の使い道を決めたものが歳出です。

歳出で最も大きな割合を占めているのは、福祉のために使われる民生費です。全体の44.3%を占めていて、前年度に比べて12.1%、金額で10億6899万円増加しています。

次に総務費が10.3%を占め、前年度に比べて4.7%、金額で1億360万円増加しています。

続いて衛生費、教育費、土木費となっています。

市は、限られたお金を有効に活用しながら、市民の皆さんと共に計画的な将来投資を進めていきます。

本年度も市政に対する皆さんの理解と協力をお願いします。

●問い合わせ

財務課

(☎656・6569)

※表内の金額は、表示単位未満四捨五入しているため、総額と一致していない場合があります。